

# ウメ輪紋ウイルス(プラムポックスウイルス(PPV))の 調査・防除にご協力ください

- ① 写真にあるような症状を見かけたときは、お知らせください。
- ② 調査は都道府県と農林水産省植物防疫所が行います。



ウメ葉の症状



- ・ この病気は、種子や果実から他の樹に感染することはありません。
- ・ ヒトや動物に感染することはありませんので、果実を食べても健康に影響はありません。

## ウメ輪紋ウイルス(プラムポックスウイルス(PPV))の特徴

- PPVの感染が確認されたウメでは、葉にドーナツ状の緑色の薄い部分ができる症状(輪紋症状)や花弁に斑(ふ)が入る症状(ブレイキング症状)などが確認されています。
- 外国では、PPVに感染したモモやスモモなどで、果実に斑紋が生じたり、早期落果などの被害が報告されています。
- PPVは、アブラムシによって伝搬されるとともに、感染した植物の苗や穂木などの移動により、感染が広がります。

### お問い合わせ先

農林水産省神戸植物防疫所 電話 078(389)5320

山口県農林水産部農業振興課 電話 083(933)3366

# ウメ輪紋ウイルス(プラムポックスウイルス)とは

## 1. 経緯

モモ、スモモなどの*Prunus* 属の植物に広く感染する重要な植物ウイルスであり、1915年にブルガリアで発見され、以降、欧州、アジア、北米、南米等でも確認されています。

これまでウメへの感染報告はありませんでしたが、平成21年(2009)に東京都青梅市で初めて確認されました。

## 2. 特徴

### (1) 人や動物には感染しません

植物に感染するウイルスで、感染した樹を触っても、感染した樹の果実を食べても人には感染しませんし、影響はありません。

### (2) 病気の症状が現れるまでに時間がかかります(潜伏期間)

病気に感染しても、直ぐに症状は現れず、3年程度がかかる場合があります。

### (3) 感染する植物が限られています

全ての植物には感染しません。感染する主な植物は下記6.で紹介しているモモ、スモモなどの*Prunus* 属の植物です。

## 3. 感染経路

植物の汁液に存在し、主に接ぎ木によって感染し、穂木や苗を經由して広がります。その他にアブラムシの吸汁によって感染することが知られています。

なお、専門家の研究では、生果実では感染しない、また、土壌伝染や種子伝染はしないと報告されています。

## 4. 症状・被害

モモやスモモでは、葉に退緑斑点や輪紋が生じるほか、果実の表面に斑紋が現れ、商品価値が失われたり、成熟前の落果により減収するとの報告があります。

ウメでは、葉に退緑斑点や輪紋が生じるほか、花卉にブレーキング症状(斑入り症状)が現れることがあります。なお、これまでのところ、果実への顕著な症状は見られていません。

## 5. 防除対策

ウイルスに感染した場合、農薬等で治療することはできません。

まん延防止や健全な苗木を感染から防止するためには、アブラムシの防除の徹底、感染樹の除去、無病健全な苗の使用が重要な対策となります。

## 6. 宿主植物

サクラ節\*を除く*Prunus* 属植物<ウメ、モモ、スモモ、ネクタリン、アンズ、サクラ(オウトウ)など>及びセイヨウマユミ、ナガバクコ、ヨウシュイボタなどです。

\*サクラ節とは、ソメイヨシノやシダレザクラなど観賞用のサクラ品種の総称

(参考……農林水産省ホームページ)

○ ウメ輪紋ウイルス(プラムポックスウイルス)の防除について

[http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k\\_kokunai/ppv/ppv.html](http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/ppv/ppv.html)